

しんけいなんびょう

神経難病 とは



神経難病とは、脳や神経、筋肉などをおかす病気の中で、はっきりとした原因や治療法がまだ確立されていない病気を指します。近年の医療の進歩により、一部の神経難病では、治療によって症状が改善したり、症状の悪化を防いだりすることができるようになりました。しかし未だに神経難病の多くでは有効な治療法がなく、次第に症状が進行し、日常生活に支障をきたします。

神経難病の中でも、筋力の低下が問題となる筋萎縮性側索硬化症 (Amyotrophic lateral sclerosis, ALS) や脳や脳幹、小脳の機能低下により動きが悪くなる多系統萎縮症 (Multiple system atrophy, MSA) は、その症状と経過が特殊なために早い段階から治療方針の選択を迫られることがあります。本冊子では注意すべき症状とその対応 (医療処置) について解説します。

今後出てくる
専門用語

ALS

筋萎縮性側索硬化症 (Amyotrophic lateral sclerosis)

MSA

多系統萎縮症 (Multiple system atrophy)